

焦点 | Vol.45 No.1 (2012 年 1-2 月)

## 研究者育成のための質保証における グローバルスタンダード

■わが国における研究者育成の質保証の現状と課題 牧本清子

■大阪大学大学院保健学専攻における研究者育成の質保証に向けた取り組み 牧本清子

■米国における研究者育成の質保証の現状と課題—ワシントン大学を中心に考える 近藤暁子

【ユーロ圏における研究者育成の質保証の現状と課題】

■英国の大学におけるリサーチスチューデント育成のためのサポートシステム—マンチェスター大学を例にして 小松谷子

■フィンランド、スウェーデンなど北欧の状況 佐々木明子

■タイにおける看護研究者育成の質保証の現状と課題

山本あい子, 岩國亜紀子

■JCEBP の実際と意義—研究者育成の質保証の観点も含めて 伊藤美樹子

### 特別記事

国際看護研究の魅力—タンザニアにおけるフィールドワークと米国大学院での経験③ 新福洋子, Chrystal Patil, Kathleen Norr

### 連載

●看護研究の基礎—意義ある研究のためのヒント・7

データ収集法①—質問票の設定 坂下玲子

### 編集後記

●東日本大震災の記憶を色濃く残したまま、気がつけば本年最後の号を迎えました。今年も1年、ありがとうございました。震災を契機に日本のあり方がこれまで以上に問われていますが、本焦点は、広くアジアを中心に日本の看護の価値観や感性を導き出そうとする点で、先駆的で示唆に富むように感じます。デザイナーの原研哉氏は、近著『日本のデザイン』で、「繊細、丁寧、緻密、簡潔」という「知恵」や「感性」が日本の文化や成長を育んできたとし、こうした「感覚資源」をもとに未来を創造していくことを提言しています。本焦点で小西氏が触れている日本人の美德も、「Good Nurse」としての資質に反映し、ホスピタリティやきめの細かさといった日本独自の看護の創出に与って力ある感覚資源といえそうです。研究成果を世界に示す気運の高まりを受けて、看護のなかに日本固有の感性を見いだす取組みが活発化することは重要な意味をもつと思いますし、またそれは、ふさがちであった1年に光を射し入れる希望でもあると感じます。その希望を、弊誌も共有していけたらと思います。来年もどうぞよろしくお願いいたします。(小長谷)

### ●編集顧問(五十音順)

小島 操子

聖隷クリストファー大学・教授(学長)

中島紀恵子

新潟県立看護大学・名誉教授

中西 睦子

国際医療福祉大学・教授(看護学科長)

前原 澄子

京都橘大学看護学部・教授(学部長)

南 裕子

高知県立大学・学長

### ●編集協力者

阿曾 洋子／荒川 靖子

井部 俊子／蝦名美智子

太田喜久子／岡谷 恵子

片田範子／金井 Pak 雅子

上泉 和子／川口 孝泰

河口てる子／川村佐和子

黒田 裕子／高橋 泰子

近田 敬子／筒井真優美

水流 聡子／野嶋佐由美

早川 和生／舟島なをみ

村嶋 幸代／森 恵美

安酸 史子／山本あい子

横尾 京子

看護研究 第44巻 第7号(通巻235号) 2011年12月15日発行(増刊号を含め年7回発行)

発行:株式会社医学書院 代表者 金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2011, Printed in Japan

販売部(03)3817-5657 社内案内(03)3817-5600 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

[看護研究]編集室:(03)3817-5775 電子メールアドレス [kanken@igaku-shoin.co.jp](mailto:kanken@igaku-shoin.co.jp) 担当/小長谷・伊藤

1部定価1,890円(本体1,800円+税5%)

2011年年度予約購読料(税込, 配送料弊社負担, 増刊号を含む年7冊):

冊子のみ12,600円 冊子+電子版17,600円 電子版/個人12,600円 電子版/共有14,490円

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行なうことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

**JCOPY** (社)出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, e-mail [info@jcopy.or.jp](mailto:info@jcopy.or.jp))の許諾を得てください。